

# 広島県後期高齢者医療広域連合の財政状況の公表

～ 令和4年11月 ～

この「財政状況の公表」は、後期高齢者医療制度の運営にお金がどのように使われているのかといった広域連合の財政状況を皆さんに知っていただくため、毎年5月に下半期分（前年度10月1日から3月31日まで）の財政状況と当年度の当初予算を、11月に上半期分（4月1日から9月30日まで）の財政状況と前年度の決算状況を「広島県後期高齢者医療広域連合の財政状況の作成及び公表に関する条例」に基づき公表するものです。

今回は、令和4年度上半期（令和4年4月1日から9月30日まで）の予算執行や財産の状況と令和3年度の決算状況について公表します。

また、主要な予算科目の内容について簡単に説明しています。



# 令和4年度上半期の財政状況

## ～予算執行の状況と財産等の概要～

以下で説明する財政状況は、令和4年9月30日現在で記載しています。

## 1 令和4年度上半期の歳入歳出予算の執行状況

予算執行状況については次のとおりです。

### ●一般会計の予算執行状況（令和4年9月30日現在）

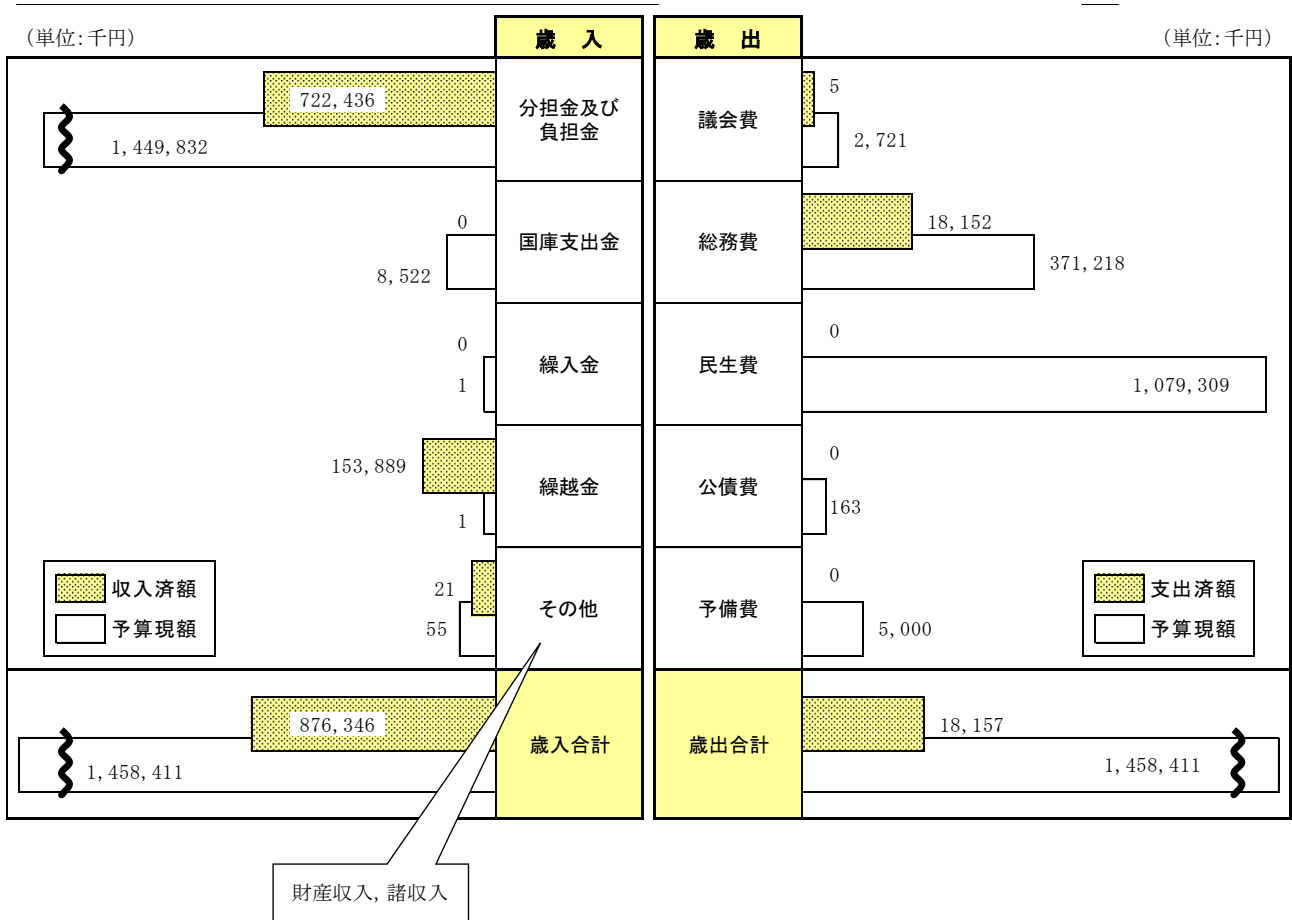
（歳入） （単位：千円）

区 分	予算現額 (A)	収入済額 (B)	収入率 (B/A)
分担金及び負担金	1,449,832	722,436	49.8%
国庫支出金	8,522	0	0.0%
財産収入	12	2	16.7%
繰入金	1	0	0.0%
繰越金	1	153,889	15,388,900.0%
諸収入	43	19	44.2%
合 計	1,458,411	876,346	60.1%

（歳出） （単位：千円）

区 分	予算現額 (A)	支出済額 (B)	支出率 (B/A)
議会費	2,721	5	0.2%
総務費	371,218	18,152	4.9%
民生費	1,079,309	0	0.0%
公債費	163	0	0.0%
予備費	5,000	0	0.0%
合 計	1,458,411	18,157	1.2%

グラフ「令和4年度一般会計予算の執行状況（令和4年9月30日現在）」



(注)上のグラフには、視覚的にわかりやすくしているため、数値と棒グラフの長さの比が合致しない箇所があります。

●後期高齢者医療特別会計の予算執行状況（令和4年9月30日現在）

（歳入）

（単位：千円）

区 分	予算現額 (A)	収入済額 (B)	収入率 (B/A)
市町支出金	75,611,291	31,838,488	42.1%
市町保険料等負担金※	41,561,583	14,813,566	35.6%
国庫支出金	142,412,133	84,335,670	59.2%
県支出金	36,071,965	22,699,808	62.9%
支払基金交付金	175,873,136	74,476,061	42.3%
特別高額医療費 共同事業交付金	149,990	0	0.0%
財産収入	204	0	0.0%
繰入金	4,353,655	0	0.0%
繰越金	1	9,409,009	940,900,900.0%
県財政安定化 基金借入金	1	0	0.0%
諸収入	476,094	262,404	55.1%
合 計	434,948,470	223,021,440	51.3%

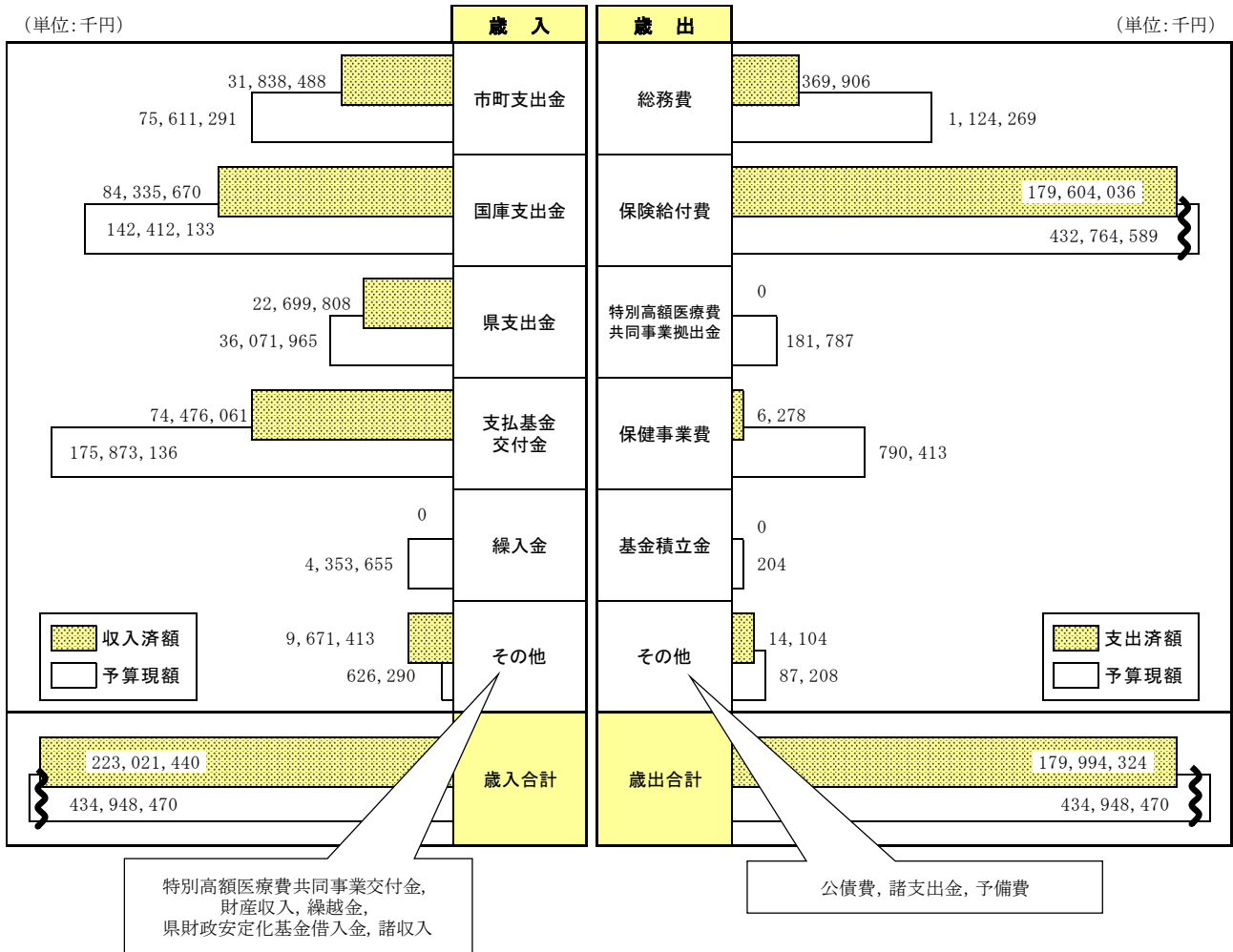
※市町保険料等負担金：市町支出金のうち保険料等についての再掲

（歳出）

（単位：千円）

区 分	予算現額 (A)	支出済額 (B)	支出率 (B/A)
総務費	1,124,269	369,906	32.9%
保険給付費	432,764,589	179,604,036	41.5%
特別高額医療費 共同事業拠出金	181,787	0	0.0%
保健事業費	790,413	6,278	0.8%
基金積立金	204	0	0.0%
公債費	3,247	0	0.0%
諸支出金	58,961	14,104	23.9%
予備費	25,000	0	0.0%
合 計	434,948,470	179,994,324	41.4%

グラフ「令和4年度後期高齢者医療特別会計予算の執行状況（令和4年9月30日現在）」



(注)上のグラフには、視覚的にわかりやすくしているため、数値と棒グラフの長さの比が合致しない箇所があります。

## 2 広域連合が所有する財産の現在高

令和4年9月30日現在において、広域連合が所有する財産は次のとおりです。

### 【物 品】

区 分	数 量	摘 要
物 品	1	令和3年度財務会計システム一式

(取得価格1件100万円以上の物品)

### 【基 金】

名 称	金 額 (円)	摘 要
財政調整基金	571,090,194	決算剰余金等を積み立て、不測の支出に備えるための基金
後期高齢者医療給付準備基金	10,699,788,731	徴収した保険料のうち、その年度に余ったものを積み立て、次年度以降の給付に充てるための基金

## 3 一時借入金及び地方債の借入状況

### (1) 一時借入金

一時借入金とは、一時的な現金の不足を補うための短期借入金です。

令和4年4月1日から9月30日までの間の借入れはありませんでした。

### (2) 地方債（広域連合債）

地方債とは、その償還が借入年度以降にわたる長期の借入金で、多額の事業費の財源を確保し、費用負担の世代間格差を是正するためのものです。

令和4年9月30日現在において、借入れはありません。



#### 4 住民負担の状況

被保険者に納めていただいた保険料は、医療給付等に要する費用に充てられる「保険料等負担金」として各市町から広域連合に納付されています。

その他に各市町からは、広域連合の運営に要する費用に充てられる「事務費負担金」及び医療給付に要する費用に一定の割合で充てられる「療養給付費負担金」が広域連合に納付されています。

令和4年4月1日から9月30日における各市町の納付額は、次のとおりです。

(単位：千円)

区 分	保険料等負担金	事務費負担金	療養給付費負担金	合 計
広島市	5,966,432	256,798	5,942,184	12,165,414
呉市	1,461,306	61,392	1,818,336	3,341,034
竹原市	216,096	10,364	231,162	457,622
三原市	665,716	27,082	735,612	1,428,410
尾道市	1,009,961	39,288	1,062,996	2,112,245
福山市	2,514,316	109,096	2,549,922	5,173,334
府中市	306,362	13,620	289,806	609,788
三次市	362,488	17,106	441,462	821,056
庄原市	288,560	13,942	364,890	667,392
大竹市	209,507	10,184	229,896	449,587
東広島市	977,692	42,436	943,578	1,963,706
廿日市市	754,870	30,132	705,078	1,490,080
安芸高田市	216,143	11,106	220,548	447,797
江田島市	212,469	10,022	264,318	486,809
府中町	309,711	14,192	269,202	593,105
海田町	160,637	9,348	146,754	316,739
熊野町	194,787	9,434	178,518	382,739
坂町	79,409	6,214	88,284	173,907
安芸太田町	51,869	5,366	79,830	137,065
北広島町	131,717	8,276	153,060	293,053
大崎上島町	74,439	5,716	90,618	170,773
世羅町	122,054	7,758	129,888	259,700
神石高原町	79,261	6,062	88,980	174,303
合 計	16,365,802	724,934	17,024,922	34,115,658

※令和3年度分の納付額(1,554,734千円)を含んでいます。

## 主要な予算科目の内容

### 1 一般会計

#### ( 歳 入 )

区 分	説 明
分担金及び負担金	広域連合を構成する23市町からの事務費分担金
国庫支出金	広域連合ごとの事情に応じて交付される補助金等
財産収入	基金の運用預金利子
繰入金	財政調整基金からの繰入れ
繰越金	前年度の決算剰余金の繰越し
諸収入	その他の収入

#### ( 歳 出 )

区 分	説 明
議会費	広域連合の議員報酬や議会の運営のための経費
総務費	職員の人件費や広域連合の運営に要する経費
民生費	後期高齢者医療特別会計の事務費等の経費に充てる繰出金
公債費	一時的な現金不足に対処するため、借り入れる資金に対する支払利子
予備費	不測の支出に備えるための経費

## 2 後期高齢者医療特別会計

### ( 歳 入 )

区 分	説 明
市町支出金	被保険者から徴収した保険料や，被保険者が受けた医療給付の1/12相当の市町の公費負担
国庫支出金	被保険者が受けた医療給付の3/12相当の公費負担や，広域連合間の財政調整を目的とした調整交付金等
県支出金	被保険者が受けた医療給付の1/12相当の公費負担等
支払基金交付金	現役世代からの後期高齢者支援金
特別高額医療費 共同事業交付金	著しく高額な医療費の発生による影響を緩和するための交付金
財産収入	基金の運用預金利子
繰入金	一般会計，給付準備基金からの繰入金
繰越金	前年度の決算剰余金の繰越し
県財政安定化基金 借入金	後期高齢者医療の財政安定化を目的に県が設置する基金からの借入金
諸収入	その他の収入

### ( 歳 出 )

区 分	説 明
総務費	後期高齢者医療制度の事務執行に伴う経費
保険給付費	療養給付費，高額療養費，葬祭費等の保険給付のための経費
特別高額医療費 共同事業拠出金	全国の広域連合が負担し，特別高額医療費共同事業交付金の財源となる拠出金
保健事業費	各市町で行う被保険者の健康診査等の保健事業に対する補助金等
基金積立金	給付準備基金への積立金
公債費	一時的な現金不足に対処するため，借り入れる資金に対する支払利子
諸支出金	国庫負担金，県負担金，市町負担金の返還等に要する経費
予備費	不測の支出に備えるための経費

# 令和3年度広域連合の決算の状況

## 1 令和3年度の事業

広域連合では、被保険者に安定した医療給付を実施していくための各種事業を行い、制度の円滑かつ効率的な運営に努めました。

各会計の主な支出は次のとおりです。

### ●令和3年度一般会計の主な事業

主な経費は、後期高齢者医療特別会計の事務費に充てるための事務費繰出金（840,027千円）、派遣職員の給料等負担金（264,222千円）となっています。

### ●令和3年度後期高齢者医療特別会計の主な事業

主な経費は、被保険者の医療機関等での受診に対する療養給付費を中心とした保険給付費（411,990,860千円）、電算処理システムの安定稼働と適正運用のための広域連合電算処理システム運用管理事業（310,842千円）、市町が行う健康診査事業、歯科健康診査事業、長寿・健康増進事業や低栄養防止・重症化予防等推進事業に対する補助（250,486千円）、広域連合が行う保健事業・介護予防一体的実施業務委託料（179,893千円）となっています。

## 2 令和3年度一般会計の決算状況

歳入決算額	14億6,450万99円
歳出決算額	13億1,061万1,368円
歳入歳出差引額	1億5,388万8,731円

### (1) 歳入の状況

令和3年度一般会計の財源構成は、構成市町からの負担金が全体の大部分を占めています。

前年度と比較すると、合計で71,227千円(5.1%)の増となっていますが、これは主に、繰越金が52,229千円(49.2%)、構成市町からの事務費分担金が18,916千円(1.5%)増額となったことによるものです。

### (歳入)

(単位:千円)

区分	予算現額 (A)	収入済額 (B)	収入率 (B/A)	全体に 占める 割合	前年度 収入済額 (C)	増減 (D=B-C)	増減率 (D/C)
分担金及び負担金	1,305,671	1,305,671	100.0%	89.2%	1,286,755	18,916	1.5%
国庫支出金	3,778	319	8.4%	0.0%	234	85	36.3%
財産収入	10	9	90.0%	0.0%	11	△2	△18.2%
繰入金	1	0	0.0%	0.0%	0	0	—
繰越金	158,457	158,457	100.0%	10.8%	106,228	52,229	49.2%
諸収入	40	44	110.0%	0.0%	45	△1	△2.2%
合計	1,467,957	1,464,500	99.8%	100.0%	1,393,273	71,227	5.1%

(注) 端数処理の都合で全体に占める割合の合計が100.0%にならない場合があります。

## (2) 歳出の状況

令和3年度の歳出の状況を行政目的別に見ると、特別会計事務費繰出金等の民生費が64.1%を占め、次いで広域連合事務局の運営経費である総務費が全体の35.9%となっています。

前年度と比較すると、総務費51,477千円(12.3%)の増額を中心に、合計で75,795千円(6.1%)の増額となりました。

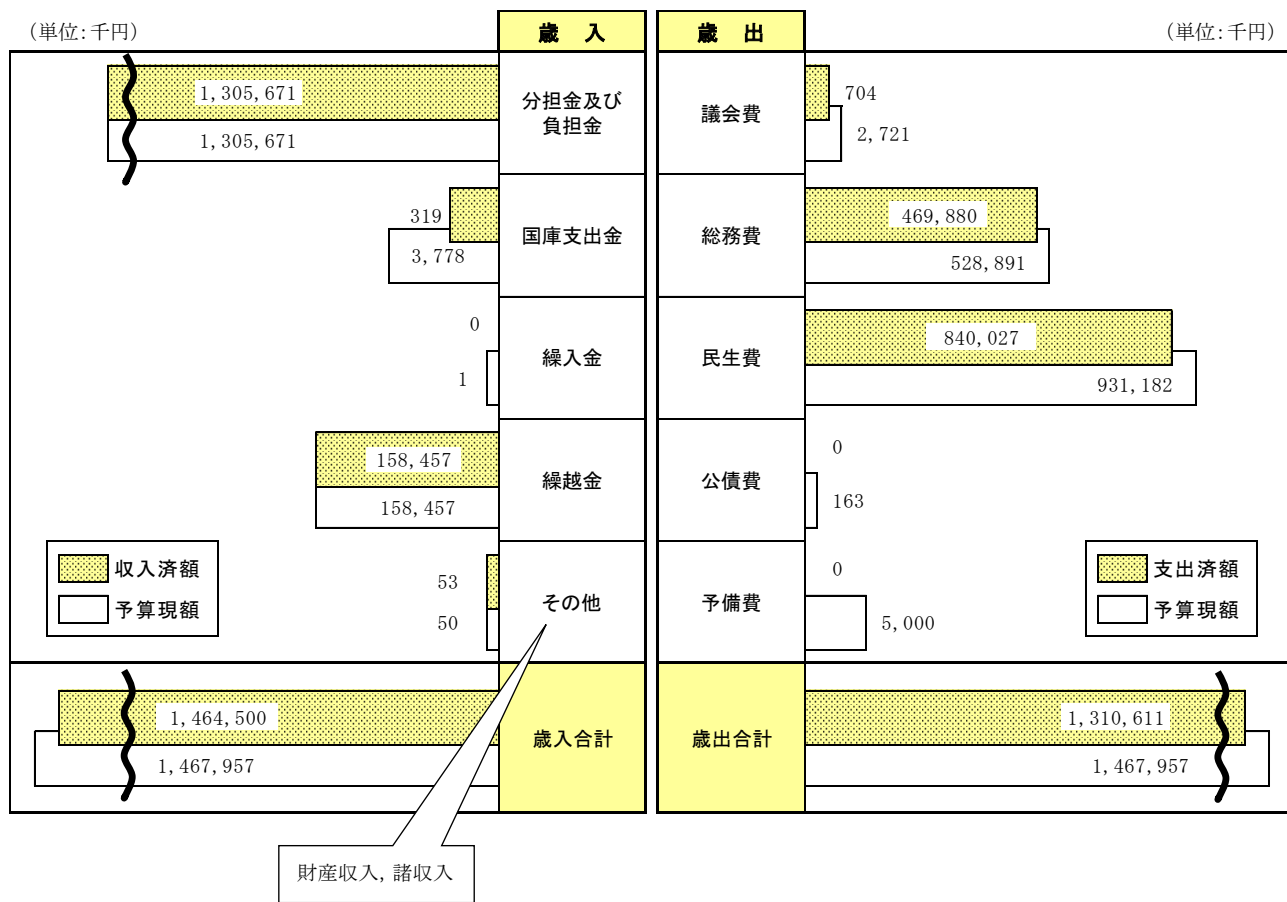
### (歳出)

(単位:千円)

区分	予算現額 (A)	支出済額 (B)	支出率 (B/A)	全体に 占める 割合	前年度 支出済額 (C)	増減 (D=B-C)	増減率 (D/C)
議会費	2,721	704	25.9%	0.1%	708	△4	△0.6%
総務費	528,891	469,880	88.8%	35.9%	418,403	51,477	12.3%
民生費	931,182	840,027	90.2%	64.1%	815,705	24,322	3.0%
公債費	163	0	0.0%	0.0%	0	0	—
予備費	5,000	0	0.0%	0.0%	0	0	—
合計	1,467,957	1,310,611	89.3%	100.0%	1,234,816	75,795	6.1%

(注) 端数処理の都合で全体に占める割合の合計が100.0%にならない場合があります。

グラフ「令和3年度一般会計歳入歳出決算の状況」



(注) 上のグラフには、視覚的にわかりやすくしているため、数値と棒グラフの長さの比が合致しない箇所があります。

### 3 令和3年度後期高齢者医療特別会計の決算状況

歳入決算額	4,340億3,902万4,954円
歳出決算額	4,246億3,001万5,576円
歳入歳出差引額	94億900万9,378円

この差引額は、令和3年度の剰余金として令和4年度に繰り越し、国庫補助金等の返還金の財源に充てます。

#### (1) 歳入の状況

令和3年度後期高齢者医療特別会計の財源構成は、現役世代からの支援金である支払基金交付金が全体の38.9%を占め、次いで国庫支出金が32.2%、市町支出金が16.6%、県支出金が8.3%となっています。

#### (歳入)

(単位:千円)

区分	予算現額 (A)	収入済額 (B)	収入率 (B/A)	全体に 占める 割合	前年度 収入済額 (C)	増減 (D=B-C)	増減率 (D/C)
市町支出金	74,710,793	71,971,513	96.3%	16.6%	71,766,002	205,511	0.3%
市町保険料等負担金※	40,840,981	39,982,030	97.9%	9.2%	39,549,656	432,374	1.1%
国庫支出金	140,998,231	139,741,782	99.1%	32.2%	144,342,261	△4,600,479	△3.2%
県支出金	35,639,884	35,845,441	100.6%	8.3%	34,904,788	940,653	2.7%
支払基金交付金	174,021,107	168,787,131	97.0%	38.9%	165,003,816	3,783,315	2.3%
特別高額医療費 共同事業交付金	116,869	117,850	100.8%	0.0%	119,122	△1,272	△1.1%
財産収入	214	213	99.5%	0.0%	1,049	△836	△79.7%
繰入金	1,448,691	840,027	58.0%	0.2%	815,705	24,322	3.0%
繰越金	16,236,585	16,236,586	100.0%	3.7%	4,520,824	11,715,762	259.2%
県財政安定化 基金借入金	1	0	0.0%	0.0%	0	0	—
諸収入	484,905	498,482	102.8%	0.1%	484,653	13,829	2.9%
合計	443,657,280	434,039,025	97.8%	100.0%	421,958,220	12,080,805	2.9%

※市町保険料等負担金:市町支出金のうち保険料等についての再掲

(注) 端数処理の都合で全体に占める割合の合計が100.0%にならない場合があります。



## (2) 歳出の状況

令和3年度の歳出の状況を行政目的別に見ると、被保険者の医療機関等での受診に対する療養給付費を中心とした保険給付費が全体の97.0%と歳出総額のほとんどを占め、次いで令和2年度交付分の国庫支出金返還金を中心とした諸支出金が2.6%となっています。

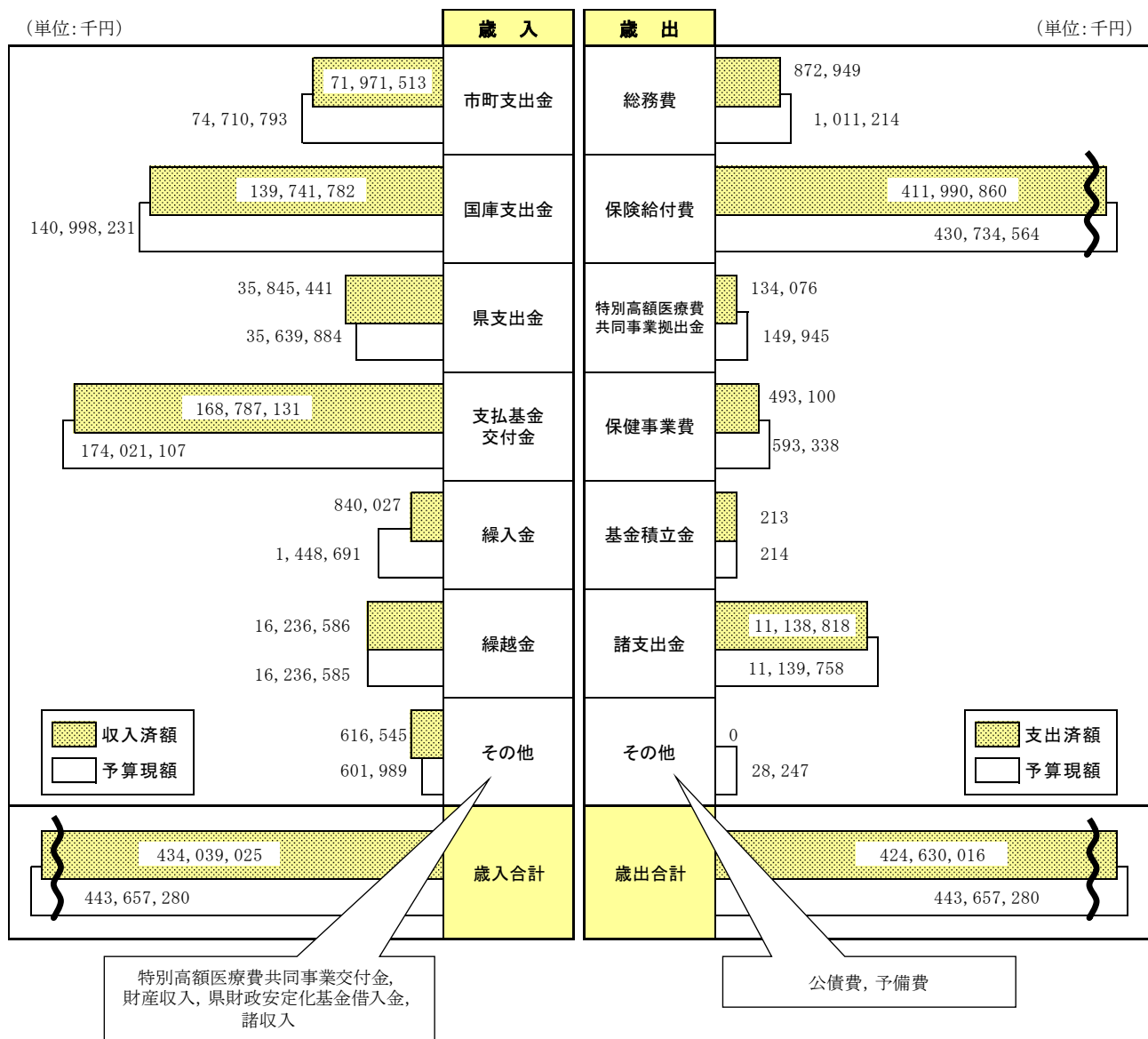
### (歳出)

(単位:千円)

区分	予算現額 (A)	支出済額 (B)	支出率 (B/A)	全体に 占める 割合	前年度 支出済額 (C)	増減 (D=B-C)	増減率 (D/C)
総務費	1,011,214	872,949	86.3%	0.2%	820,274	52,675	6.4%
保険給付費	430,734,564	411,990,860	95.6%	97.0%	400,414,567	11,576,293	2.9%
特別高額医療費 共同事業拠出金	149,945	134,076	89.4%	0.0%	114,921	19,155	16.7%
保健事業費	593,338	493,100	83.1%	0.1%	309,935	183,165	59.1%
基金積立金	214	213	99.5%	0.0%	1,049	△836	△79.7%
公債費	3,247	0	0.0%	0.0%	0	0	—
諸支出金	11,139,758	11,138,818	100.0%	2.6%	4,060,888	7,077,930	174.3%
予備費	25,000	0	0.0%	0.0%	0	0	—
合計	443,657,280	424,630,016	95.7%	100.0%	405,721,634	18,908,382	4.7%

(注) 端数処理の都合で全体に占める割合の合計が100.0%にならない場合があります。

グラフ「令和3年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の状況」



(注)上のグラフには、視覚的にわかりやすくしているため、数値と棒グラフの長さの比が合致しない箇所があります。